

# 高付加価値化実践者及び志向者のステップアップを目指して ～農業者ニーズに沿った研修会を、参加しやすいオンラインとのハイブリッドで開催～ 十勝農業改良普及センター広域 高付加価値化

## 1 活動対象及び概要

十勝管内高付加価値化実践者・志向者に対し、昨年度の研修会参加者アンケートや個別巡回で要望の多かった内容の研修会を集合会場とオンラインのハイブリッドで開催した。その結果、多くの農業者が参加し参加者の満足度の高い研修会となった。

## 2 背景・ねらい

十勝管内には、各地で地産地消の取り組みとして直売所があり、生産者と消費者の交流や相互理解の場となり、地域振興にもつながっている。また、農畜産物を活用した加工・販売に取り組む農業者も多く、十勝の農畜産物のPRにつながっている。

関係機関との連携により研修会を開催し、高付加価値化実践者及び志向者のステップアップを目指した。

## 3 活動の経過

### (1) 個別巡回で聞こえてきた農業者の声

#### 【直売活動に取り組む農業者】



- ・「マンネリ化を打破したいが、何か新しい野菜はないか。」
- ・「他の直売所は、どんな取り組みをしているのか知りたい。」

#### 【農畜産物加工販売志向農業者】



- ・「賞味期限設定は、誰が決めるの？どうやって賞味期限を決めれば良いのかよくわからない。」
- ・「検査に出して、決めてもらったほうがいいのか？」

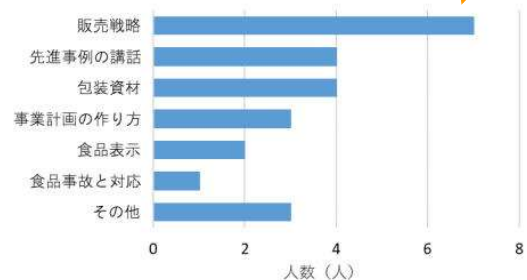
### (2) 農業者のニーズに沿った研修会を企画

- ・高付加価値化担当者会議で協議し、昨年の研修会のアンケート結果や農業者ニーズを踏まえて研修会を企画。



令和4年度高付加価値化研修会参加者のアンケートも参考に!

今後希望する研修内容



FAXでの開催案内の他、個別巡回等で、参加を呼びかけた

### (3) 関係機関と連携し、『賞味期限設定に関する研修会&直売所売上げアップ研修会』を開催

開催日	内 容	参加者	場 所
令和5年 11月21日	(1) 『賞味期限設定の考え方と設定方法について』 講師：十勝圏食品加工技術センター 水谷香子研究主査	77名	○集合会場 十勝総合振興局
	(2) 『好調な直売所の特徴と売れ筋野菜』 講師：渡辺農事(株)北海道営業所 安達英人氏	74名 (延べ 151名) (実人数 95名)	○オンライン会場 普及センター3支所 個人宅等 16カ所

直売所に農畜産物を出荷している農業者の中には、食品加工に取り組む人もいることから、別日にせず午前・午後の2部制で開催

## 4 活動の成果

(1) 延べ151名、多くの農業者が参加！

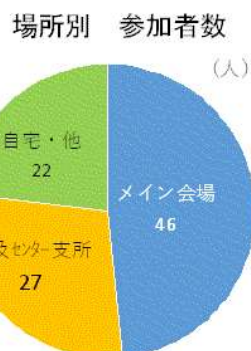
- ・ 農業者ニーズに沿った内容であったことや、参加しやすいように集合会場とオンラインのハイブリッド開催にしたことにより、実人数で100人規模の研修会となった。
- ・ 個別巡回の声かけにより、参加する農業者が増加。



賞味期限設定研修会



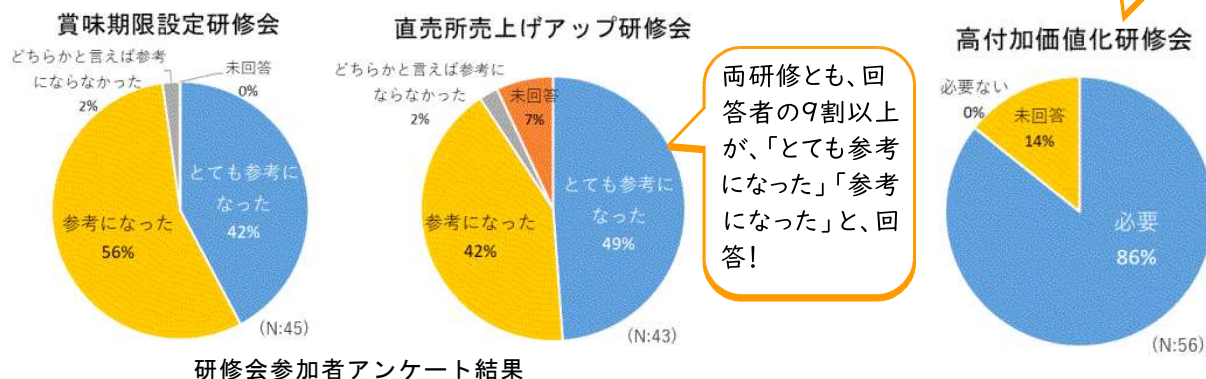
直売所売上げアップ研修会



集合会場だけでなく、オンライン先からも、多くの質問があり、有意義な研修会になりました

アンケート回答者の9割が、今後も高付加価値化研修会が必要と回答!

(2) 参加者の満足度が高い研修会となった



### 【 研修会参加者の声 】

保存試験の条件や保存期間の決め方など、学びがたくさんありました。(賞味期限設定研修会参加者)



他の直売所の事例が見られて、とても参考になった。(直売所売上げアップ研修会参加者)



野菜のPR方法は、参考になりました。もっと美味しい野菜を作ります。(直売所売上げアップ研修会参加者)



(3) 研修会参加者の意識・行動が変化

- ・ A農家は、研修会講師の十勝圏食品加工技術センターを訪問し、包材資材や品質保持剤について相談。加工品の水分活性などを計測。
- ・ B農家は、食品衛生に関する意識が向上し、普及センターにHACCPに沿った衛生管理を相談。

## 5 今後の対応

- (1) 「販売戦略」や「包装資材」等の高付加価値化に係る研修会のニーズがあることから、次年度も研修会を企画し、高付加価値化の取り組みのステップアップを図る。
- (2) 各関係機関・団体と連携し、農業者の取り組みを支援する。